

# 月刊 ゆがの通信

2018年7月号

発行：ゆがの薬局

## ストレス性の胃腸障害は「肝の疲れ」から「開気丸」が滞った胃腸の氣を流します

ストレスで肝もオーバーヒート

頭脳労働者や受験生、中間管理職の方などから、「胃腸の調子が悪くて、市販の胃腸薬や整腸剤を服用しても効かない」というご相談をよくいただきます。これらの方々は「いつもストレスにさらされている」という共通点をお持ちです。

ストレスにあうと、人間の脳は大量の血液を消費します。血液を供給する「肝(かん)」もフル回転します。漢方という「肝」は「血(けつ)、血液を含めたすべての水分」を貯蔵して必要に応じて供給する機能を受け持つだけでなく、自律神経や新陳代謝の機能を担い、全身の「気(き)、エネルギーのこと」「の流れをコントロールしたり、内臓の働きをスムーズにしたりしています。



つまり、肝はフル回転の末にオーバーヒートしてしまうと自立神経や新陳代謝の働きが鈍くなり、身体の不調につながるのです。ストレスを受けたとき、肝の機能が

低下してしまう人と亢進してしまう人がいます。後者は若い人や体力のある人に多くみられ、イライラしたり、怒りっぽくなったりと攻撃的な精神状態になりやすくなります。また、消化器系に異常が出やすくなり、胃やよき腹が痛む、ガスが溜まって腹が張る、下痢や便秘をするが顕著な症状となります。

これらは市販の胃腸薬や下痢止めなど症状に対応した薬では上手くいかないことが多いのです。なぜならば原因は胃腸ではなく、ストレスで弱った肝の働きの低下とうっ滞してしまった氣の流れにあるからです。

### ストレスに「開気丸」

漢方の古典には「肝の病は脾胃(ひい消化器系のこと)に及ぶ」とあります。肝の担う体内に氣血(きけつ) 血液や水分、エネルギーをめぐらす機能がおかしくなると、ストレス性の胃腸障害を起こしやすいということです。まず、うっ滞した氣の流れをスムーズに流すことにより、胃腸の機能を調整することが先決です。

このようなストレス性の胃腸障害には「開気丸」をおすすめしています。開気丸には芳香性の揮発性成分を含む生薬が多く配合されています。木香(モ

コウ)、枳殼(キコク)、厚朴(コウボク)、陳皮(チンピ)などはうっ滞した氣をスムーズに流すことで胃腸の働きを整え、腸内のガスを取り除くことができます。

開気丸はストレスと緊張の多い現代社会で力を発揮する漢方薬です。ぜひ一度お試し下さい。



イスクラ産業「開気丸」

一、二〇丸(五日分) お試しパック

一、八〇〇円 + 税

四八〇丸(二〇日分)

五、八〇〇円 + 税



(C) イスクラ産業株式会社

「開気丸」についてのご相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

## 「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



1ヶ月分 8200円(税込)

## ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150  
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>